

**Ritsumeikan Advanced Research Academy（RARA）**

**2025年度羽ばたく次世代研究者挑戦的研究プログラム申請書**

　年　　月　　日 現在

|  |
| --- |
| ふりがな：　氏名（姓/名/ミドル）：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| Eメール（学内メールアドレス）　　　　　　　　＠　　　　　　　　　　　　　　　　 | 携帯電話番号　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 年 | 月 | 大学入学以降の学歴および職歴（それぞれまとめて記入のこと） |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 受賞歴等 |  |
| 研究テーマ |  |
| 受給中の研究費、奨学金など |  |
| 共同研究者(所属･氏名) | （任意事項：共同で研究活動を実施する研究者がいる場合、最大2名まで記載してください。研究分野や研究科をまたいだ挑戦的な研究活動も歓迎します。ただし、全てのメンバーが申請資格を満たす必要があります） |
| 学生証番号/教職員番号　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 | 指導（予定）教員名/受入（予定）教員名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 博士後期課程学生の方は以下を入力ください。 |
| 所属研究科・専攻 | 研究科：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　専　攻：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　入学（予定）年月：　　　　　年　　　　　月 |
| 希望する進 路 | 大学等研究機関　・　企業　　・　　起業　　・　その他（　　　　　　　　　　　　　　　） |

※本書類は保存期間経過後、大学にて責任を持って破棄いたします。

**１．研究計画について（文字の大きさを10.5ポイントとし、(1)～(5)までで2頁以内で作成してください）**

（1）研究の位置づけ

（当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めてください）

（2）研究目的・研究方法

（審査委員が申請された研究活動の内容をイメージ出来るような記述を心がけてください）

（3）研究の特色・独創的な点

（今次提案内容がいかに申請者の自由で大胆な発想に基づく挑戦的・野心的な研究計画であるかを、異分野の審査員にも分かるように説明ください。）

（4）研究成果の学術、科学技術もしくは社会的な意義または波及効果

（本研究課題に基づく成果が、学術や科学技術、社会などに対してどのような意義や波及効果があるかを説明してください）

（5）予算計画（具体的に記述してください）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 金額 | 使途 |
| 物品費 |  |  |
| 旅費 |  |  |
| 人件費 |  |  |
| その他 |  |  |
| 合計 |  |  |

　　※250万円を上限として予算計画を作成すること。ただし、審査結果次第では減額の可能性がある。

　　※予算の計画にあたっては「研究費執行ガイドブック」を参照すること。

　　【使途の例示】

|  |  |
| --- | --- |
| 物品費 | 消耗品費（機器備品含む）。（研究計画を進めるために必要なものに限る。） |
| 旅費 | 研究計画を進めるための国内、国外出張のための経費。（交通費、日当、宿泊費など） |
| 人件費 | 研究計画に必要な業務に伴う人件費。専門的知識の提供、翻訳、校閲、アンケート協力謝金等。 |
| その他 | 印刷費、通信費、学会誌投稿費用、機器リース/レンタル費用、デジタルコンテンツ、機器の改修や点検等。（研究計画を進めるために必要なものに限る。） |

**２．研究計画を実施するにあたり、自身の****研究遂行能力（研究業績に限らず、申請者自身のこれまでの経験や社会活動等も含める）について1,200字程度で記述してください。**

**３．採択を受けるにあたっての留意事項を確認しチェックをしてください。**

|  |  |
| --- | --- |
|  | 取り組み内容を対外的に発信するためのポスター（研究部指定様式）を作成に協力します。 |
|  | 学校法人立命館の附属校等の生徒に向けた研究紹介、研究発表に協力します。 |